

確かな学力の向上に向けて

学習定着度調査の結果について(3～5年生)

3～5年生を対象に「学習定着度調査」を実施しました。教科は3年生が算数、4・5年生が国語、算数の実施でした。
結果は以下の通りです。

調査結果の概要

【3年生】

教科	前学年(29年度)の調査結果
国語	実施なし
算数	実施なし



教科	3年生の学習定着度調査
国語	実施なし
算数	福岡市平均と比べて上回っている

【4年生】

教科	前学年(29年度)の調査結果
国語	実施なし
算数	福岡市平均と比べて上回っている



教科	4年生の学習定着度調査
国語	福岡市平均と比べて同程度である
算数	福岡市平均と比べてやや上回っている

【5年生】

教科	前学年(29年度)の調査結果
国語	福岡市平均と比べて上回っている
算数	福岡市平均と比べて上回っている



教科	5年生の学習定着度調査
国語	福岡市平均と比べて上回っている
算数	福岡市平均と比べて上回っている

結果の分析と今後の取組の改善

【3年生】

基本的な学習内容の定着は見られる。ただし本校に限らず、「算数の文章問題」に関しては、他の項目に比べてポイントが低い傾向が見られる

【4年生】

国語に関しては基本的な学習事項の定着は見られるものの、文章の読解に関する問題についてはポイントが低い傾向が見られる

算数に関しては基本的な知識・理解は定着している。ただし「数のしくみ」「図形に関する問題」については課題が見られる

【5年生】

国語、算数ともに全体的に学習内容は定着している

国語の「言語についての理解」、算数の「面積や体積」の問題については、本校に限らずポイントが低い傾向が見られる



今後の取組の改善について

- ・「基本的な学習内容の定着」については、一定の成果が現れていると考えられる。
- ・授業の中で「自分の考えを書くこと」「お互いの考えを交流し合うこと」にしっかりと取り組ませたい。また日記等、日常的に「書かせること」についても帰りの会や家庭学習の中で取り組ませたい
- ・算数の文章問題については、他の問題に比べて低いポイントになる傾向がある。授業の中で「考え方をしっかり交流し理解し合う活動」を大切にしていきたい。また文章問題やその他課題がみられる内容については、スキルアップタイム(放課後学習)等を活用し、問題数をこなすことにも取り組ませたい
- ・算数の図形領域に関しては、苦手さを示す児童が見られる。ICTを有効的に活用しながら、操作活動を重視した授業づくりに取り組んでいきたい
- ・家庭学習について、子どもたちにメニューや方法等について具体的に提示し、家庭学習習慣づくりや内容の充実を目指していきたい